

東由利村報

No. 165 1971.4.1

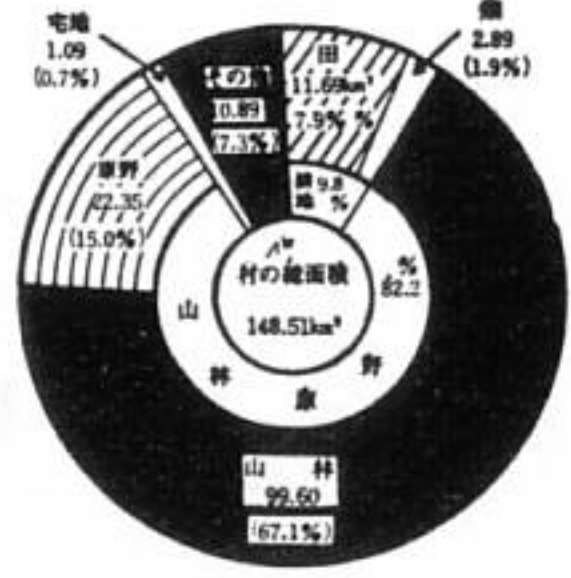
発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK木間印刷所
毎月1日発行(1部8円)昭和42年7月21日第三種郵便物認可

世帯と人口

| | |
|-----|---------|
| 世帯数 | 1,575世帯 |
| 人口 | 7,159人 |
| 男 | 3,531人 |
| 女 | 3,628人 |

財政

| | |
|------|--------------|
| 一般会計 | 427,643千円 |
| 特別会計 | 229,956千円 |
| 国保 | 93,370千円 |
| 黒診 | 927千円 |
| 内訳 | 簡水 125,246千円 |
| | 玉財 10,413千円 |



新年度 山振事業ら 押めじろ

予算 四億二千七百万円

昭和四十六年度一般会計予算案は、第一回東由利村議会定例会は、三月十二日招集、会期を同月二十五日までと定め審議した。本紙では、新年度への小松村長の施政方針表明と、佐藤教育委員長の教育方針説明、議員六氏の一般質問の応答により明らかにされた村政の方向などを要約して掲載した。

昭和四十六年度予算案を提出するにあたり、施政の方針と予算案のあらましを述べて協賛をえたい。

最初にことわっておきたいことは、私の任期は八月十九日までであるが、四十六年度全般にわたって述べているので、了承がほしい。

一般会計予算案の規模は、四億二千七百万四千三百円であり、これは四十五年度に比し、三億八千万の増、一億二千九百二十八万六千円の増額である。

整備 野田、舟木の圃場

昭和四十六年度からの新規事業として、山形県と連携して、野田、舟木の圃場整備事業を予定している。これは、山形県の圃場改良事業を予定している。また、山形県の圃場改良事業を予定している。また、山形県の圃場改良事業を予定している。



臨時総会 東由利農業協同組合

この問題は、時代の流れをうつつい加速度を増しながら進められてきたが、その過程を通じて、組合員と組合員の意志の一致が成った。

新生農協、満場一致で成る

▽積年の課題であった、東由利農協・玉米農協の合併は、三月二十七日、それぞれの臨時総会で満場一致決定された。▽昨年来、この問題は、時代の流れをうつつい加速度を増しながら進められてきたが、その過程を通じて、組合員と組合員の意志の一致が成った。

老人医療費が無料

脳卒中 二次検診を拡大

昭和四十六年度教育予算の総額は、一億二千四百一十一万円で、村予算の約三〇割に達する。しかしこの中には、学校・寄宿舎・水泳プールなど建設費に、八千五百六十七万円がふくまれており、約六八割を占めている。したがって三十九百四万三千円が、通常の教育予算であり、前年度比約三百万円、一〇割増にすぎないが、教育現場での効果が低下しないよう十分配慮している。

福祉行政

①老人医療費補助の所得制限を徹底(健康保険中の自己負担分である三割を、県と村とが半額ずつ補助している。しかしこれには所得制限があり、本人所得が扶養義務を超過する場合は、所得制限が適用されない。)

農業委員選挙

四月二十四日に

本村選挙管理委員会では、三月十五日委員会を開き、任期満了による本村農業委員会委員の選挙日を決めた。

それによると、四月十七日告示、四月二十四日が投票日となっている。投票区は、村内各小学校の通学区単位であり、各小学校が投票所にある。

村予算三〇セントの使途

教育方針で説明



佐藤教育委員長

この中で、特に新しいものは、養護士一人の設置である。従来、二校の完全給食校があり、また中学校には寄宿舎ができたので、この面の養護指導をさせたい。

いま一つは、中学校校舎距離

立派な校舎に恥じない教育活動を

中学校はおかげさまで一、二期工事が完了、立派な校舎ができあがり、心からお礼申し上げます。この四月からの

雄大、ボツメキ水道 1億2千万で着工

ボツメキ水道が、いよいよ四十六年度から着工の予定である。本管工事までで、総額

立派な校舎に恥じない教育活動を

中学校はおかげさまで一、二期工事が完了、立派な校舎ができあがり、心からお礼申し上げます。この四月からの

農協 未来指針に期待

第一に米の生産調整である。農家の収入に直接影響する重要な要素である。慎重に進める。また、農協合併で、食糧に守られた農協経営をえたい現状である。したがって、食糧に守られた農協経営をえたい現状である。

建設行政

林構林道のほか、県営土場沢線林道の開設を、全職員が誠実にあたる考えである。

春の火災予防

一億二千三百万円という、県内でも雄大な規模であり、本村人口の半数に給水できるわけである。

火入れには許可が

林野火災もまた、春には集中的に多い。山火事は、出火するとなかなか消火が困難である。山への火入れには、村長の許可が必要であり、火災にいたらない配慮が求められる。

定期に税の相談日

毎月五日、十五日、二十五日は「税の相談日」です。税金の相談は、どの税務署でも、自分の名まえを明かさずに自由に行えます。

確定申告にまちがいがあつたときは

確定申告をしたあとで、申告した所得や税額の計算に、まちがいがあつたことに気づき、納めた税金が少なかつた場合は、修正申告をして正しい額に訂正できます。この修正申告は早いほうが有利です。逆に税金を納め過ぎていた場合は、申告期限の三月十五日から一年以内、「更正の請求」をすることができます。

新生農協、首脳人事を決める

東由利村農業協同組合設立委員会(島山友一会長)は、四月七日会議を開き、四月二十八日から新発足の、同農協組合長などの人事を決めた。

油脂粉乳給食は生

教育振興のためには、環境充実などの条件と、それによる人的要素が大切である。したがって優秀な教職員配置のため、年齢、男女比率、免許教科などを考慮し、僻地

牛乳へ全面切替え

しかし今後、ひとり分校だけのことでないとは申せ、児童生徒が急激に減少していることを考えると、できるだけ分校は、本校に吸収するような方法を考究すべきと考えている。なお、小学校の統合問題は、調査会で研究討議を重ねているが、方向づけまでには、まだかなりの時日を要するのではないかと。

学校給食 なぜ村だけやれぬ

山村 振興

計画に終らざる

藤原虎之助議員 ①四十六年度から実施の、山村振興事業は計画案が示されているが、自主財源に乏しい本村と



藤原氏

②出かせぎ就労先の半分にも満たない現地視察とはいえず、実情が把握できず、就労先確保に余断を許さない今日、安全就労のための対策を考

ある。この現況をどう考え解決するのにはむずかしい。山振計画は、知事が村長と協議

ねばならない。それに保護家庭に給食費が補助され助かるという観点。やる気があれば

水泳 学校ごと日割りを

グラウンド整備いつか

加藤清議員 ①中学生の通学であるが、距離により通学用具を規制しないで、各自の選択にまかせたほうがよいと

六月いっぱい完成を予定している。②中学校古校舎は、ぜひ意見を寄せてほしい。



加藤氏

③グラウンド整備は、中学校側では八月に入ってから行なうべきである。

正しい交通ルールの実践を習慣づけ、事故防止が徹底することをねらっている。

一般質問 混迷の農政を反映

予算議会の初日は、通告の六議員が一般質問を行なった。まずトップの高橋議員は悪化する農家経済の改善策を。つづく藤原議員は、学校給食や

学校林を部落に

設定時と事情差が

遠藤兵一議員 ①学校林は村有、または村が関係しているという前提で質問したい。



高橋氏

高橋俊一議員 ①本村経済は、農畜産物の生産と加工以外に困難と思う。

幼児と老人を守ろう 春の交通安全運動

春の交通安全運動は、このたびの運動は、歩行者、自転車、乗用車、トラック、バス、トラック、バス、トラック、バス

平地への移転対策

長谷山喜市郎議員 無電灯、無電話地域の解消であるが、いまなおこれら文化の恵みに



長谷山氏



遠藤氏

遠藤兵一議員 ①学校林は村有、または村が関係しているという前提で質問したい。

あきたをすすめます 県広報協会の発行している、現月の月刊誌です。

米めぐる農政を展開

村独自の施策が必要

小野昭一議員 ①米の需給事情により過剰状態を恒久的に調整するのが、生産調整の

た場合、前年比を試算してみれば、昨年米販売量八九、六〇四俵で販売高七億四千六百

村長 ①米の生産調整への対応であるが、現在政府は米の問題で、いろいろな案を出

交通網や情報網が進歩している。われわれの生活圏は拡大され、一村単位の経済から飛躍して考えるべき、生活構造に変化して行くものと思